

連載第4回 横浜市議員 たけのうち猛 市民とともに



横浜市議員  
たけのうち猛

〈プロフィール〉

昭和49年、大分県大分市生まれ。米国・ワイオミング大学大学院・公共政策学修士課程終了。金沢区在住。平成27年4月、横浜市議員に初当選。公明党公認。建築・都市整備・道路委員会。減災対策推進特別委員会。

〈ご相談・ご連絡先〉

公明党金沢支部事務所：  
金沢区富岡西3-38-1-101  
TEL：080-9804-9782  
FAX：045-345-4345  
✉ info@takenouchi-takeshi.com  
http://www.takenouchi-takeshi.com/

林市長―条例化も含めて対応を検討

ごみ屋敷問題の解決へ、新たな展開

今回はいわゆ

る「ごみ屋敷」の

問題についてご

報告させて頂き

ます。最近もテ

レビ番組で取り

上げられるなど

全国的に関心の

高い話題ですが

横浜市内、金沢

区内でも同様の

問題があり地域

の皆さまから「何

とできないかも

のか」とのご相

談を頂いております。

Q.どのような点が問

題ですか。

A.いわゆる「ごみ屋

敷」は近隣の方々にと

って景観はもたらん

悪臭やネズミ・害虫の

発生といった衛生面だ

けではなく、防災・防

犯面からも問題視され

ております。しかし、

財産権を含め現行の法

令・規制での対応には

限界があり、長年にわ

たって解決が進まない

現状があります。

Q.確かに深刻ですね。

A.そこで公明党横浜

市議団として現地調査

を行うとともに、既に

「ごみ屋敷対策に関す

る条例」を制定・運用

している東京都足立区

や大阪市、京都市への

視察と聞き取りを実施

致しました。その結果、

条例制定による積極的

な取組が必要であると

判断し、本年9月4日

に林市長に対して「安



愛知県某所にあるごみ屋敷  
(ウィキペディアより)

心の住環境の整備促進に関する要請書」を緊急提出し、その後の本会議における一般質問等でこの問題を指摘しました。市長からは早急に区局が連携し新たな仕組みを条例化も含め検討していくとの答弁があり、28年度中の条例制定の方向性が示されました。問題の背景には、高齢化や地域での孤立化など、様々な事情があります。排除ではなく、寄り添い型の解決を目指すことが大切だと考えます。